

使用上の注意改訂のお知らせ

強心・喘息治療剤

処方箋医薬品^{注)}

日本薬局方 アミノフィリン注射液

2023年10月

アミノフィリン[®] 静注2.5%「ミタ」

AMINOPHYLLINE Intravenous Solution

注) 注意－医師等の処方箋により使用すること

製造販売元

キョーリンリメディオ株式会社

富山県南砺市井波885番地

このたび、弊社製造販売の**アミノフィリン静注 2.5%「ミタ」**の電子化された添付文書（以下、電子添文）の「使用上の注意」の記載内容を改訂しましたのでお知らせ申し上げます。

今後のご使用に際しまして、下記の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

1. 改訂内容（下線部 改訂箇所）

改訂後	改訂前						
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1 本剤又は他のキサンチン系薬剤に対し重篤な副作用の既往歴のある患者</p> <p>2.2 12時間以内にアデノシン（アデノスキャン）を使用する患者 [10.1 参照]</p>	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>本剤又は他のキサンチン系薬剤に対し重篤な副作用の既往歴のある患者</p>						
<p>10. 相互作用</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>アデノシン（アデノスキャン） [2.2 参照]</td><td>本剤によりアデノシンによる冠血流速度の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン（アデノスキャン）を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。</td><td>本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	アデノシン（アデノスキャン） [2.2 参照]	本剤によりアデノシンによる冠血流速度の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン（アデノスキャン）を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。	本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。	<p>10. 相互作用</p> <p>←新設</p>
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
アデノシン（アデノスキャン） [2.2 参照]	本剤によりアデノシンによる冠血流速度の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン（アデノスキャン）を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。	本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。					

2. 改訂理由

相互作用相手薬との整合性を図るため、「禁忌」、「併用禁忌」の項に「アデノシン（アデノスキャン）」に関する記載を追記いたしました。

- 改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE 医薬品安全対策情報」に掲載の予定です。
- 最新の電子添文は、下記ホームページでご参照くださるようお願いいたします。

PMDA ホームページ

<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuSearch/>



弊社 医療関係者向け Web サイト

<https://www.med.kyorin-rmd.com/>



- 「添文ナビ[®]」を用い、下記 GS1 コードを読み取ることで最新の電子添文等が閲覧できます。

アミノフィリン静注 2.5%「ミタ」



(01)14987060303155



医療関係者向けWebサイト

<https://www.med.kyorin-rmd.com/>

本件に関する
お問い合わせ

キョーリン リメディオ株式会社 学術部

TEL 0120-960189

FAX 0120-189099